

ほ

田平ホーム広報誌

ほえみ



令和7年1月発行

社会福祉法人 慈愛会 特別養護老人ホーム 田平ホーム ☎0950-57-1966 FAX0950-57-2185 ホームページ <http://www.tabira-home.or.jp>



新年のご挨拶

理事長挨拶・職員挨拶

特集

食事で振り返る

田平ホームの1年

行事食や特別なメニューをご紹介します！

P.7 昔のあそび／たこあげ
私の喜怒哀楽

P.8 作品紹介
職員の想い
行事予定
私のあの頃

P.9 読む！ヨム！定期だより
P.10 田平ホーム 旬情報

Welcome 田平ホーム
こんな研修受けました

令和七年

新年のご挨拶

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当法人の事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

社会福祉法人慈愛会は46年目を迎える今春、新しい施設へと移転します。法人理念の「安心・安全・快適」を基本としながら、利用者の皆様の尊厳を守り、個性を尊重したその方らしい暮らしができるよう支援いたします。

折しも巳年は、成長と変化の象徴とされ、特に「転換の年」や「物事が大きく進展する年」といわれるそうです。

2025年問題がクローズアップされる中、少子高齢化による社会保障制度や経済全体への大いなる負荷、介護サービスの需要増大、それを支える人材確保の難しさなど地域社会や経済への影響が懸念されておりますが、様々な検討課題へと取り組みながら、さらなる福祉サービスの充実を目指し法人全体で努力をしていく所存です。

皆様の変わらぬご支援ご指導を賜りつつ、さらにより良い法人運営を行ってまいります事をお約束し、新年の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 慈愛会

理事長 石本 宗裕

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、当施設にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。皆様方のお力添えをもちまして、本年も無事に新春を迎えることが出来ました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2025年は巳年です。巳年は知恵と変化の象徴とされ、新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とされています。当施設でも、この精神を大切にしてまいります。

4月1日ユニット型特養が開設いたします。ユニットケアの理念「入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したもの」を目指し、利用者の皆様が「安心・安全・快適」に過ごせる環境を提供するため、努力してまいります。

どうぞ今年もご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎えるにあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

施設長 白石 博昭



次長

石本 千夏

新年明けましておめでとうございます

今年の4月よりユニット型の施設として新たなスタートを切るにあたり、昨年は準備委員会を立ち上げ、職員一同ユニットケアについて学ぶところから始めてきました。

新しい施設は全居室個室となり、施設への入居後もなるべく自宅に近い環境でこれまで生活を継続できるよう、より快適で安全な環境を提供すること、利用者の皆様の生活の質を高めることを目標としながら対応できるよう現在も様々な準備を進めております。

ご利用者様・ご家族様・職員・施設を訪れる地域の方々との豊かな関係性を築いていけるよう一層の努力を重ねてまいりますので今後とも変わらぬご協力ご指導をよろしくお願いいたします。

皆様にとって健やかで幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

事務長

山本 ゆかり

新年あけましておめでとうございます

折り紙や工作、手芸など制作活動を利用者の皆様と共に楽しむなかで、最近は一緒に作れる作品はないかとインターネッツを検索します。様々なアイディアを参考に準備を進め、出来上がった時に『かわいかな』『こがんと見たことはなか』と90歳を超えても「初めて!」と目を細めて喜んで下さる姿にこちらも温かい気持ちにさせて頂きます。年齢ではなく、気持ちの余裕、持ち様で視点が違ってくるのだと改めて教えて頂きました。

巳年はヘビが脱皮をすることから、『変革』『挑戦』を司る年と言われるそうです。

年頭にあたり、情熱をもってユニット移行という『変革』に臨み、きめ細やかに皆様の要望に寄り添う自立を支援する介護の提供に『挑戦』することをお誓いします。

本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

生活相談員

七種 宏美

本年、新施設への引っ越しを予定しております。昨年より、ユニットケアへの転換の準備を進めていましたが、年も明けさらに期待と不安が入り交じり気が引き締まる思いです。以前、人材育成の研究のなかで「守破離」という言葉を聞きました。武道や茶道などで使われる成長の段階を表す言葉だそうです。「守」は基本を守り必要な知識や技術を習得すること。「破」は基本を理解して自分の経験を基に応用し柔軟に対応すること、「離」は独創性を持つこと、独立することの意味があるそうです。この考え方は介護の現場でも活かすことが出来ます。特に今後のユニットケアにおいては、「離」が示すように、豊富な経験を基に、ユニット独自の介護スタイルを確立しながら、利用者の皆様一人ひとりに寄り添ったよりよいケアが提供できればと思います。生活の場所やスタイルが変わることとで戸惑いや不安も多くなると思いますが、田平ホームの今までの経験をもとに、利用者の皆様がより一層安心して過ごせる環境づくりに努めていきたいと思えます。新しい年が皆様にとって、穏やかで笑顔の絶えない一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

岩佐 初美

新年あけましておめでとうございます
令和7年度は新しい建物でユニット型施設としての生活がスタートします。利用者様においても多床室から個室に変わり12名という少人数での生活が始まります。今までと色々な面で勝手が違う事で不安や寂しき、緊張等が生じる事と思います。利用者様も職員も新しい環境に馴染むまでには時間がかかるでしょう。職員はユニット毎に固定され少数でのケアに変わります。今までよりも時間に余裕が生まれ、穏やかなひと時と一緒に過ごし、楽しみや喜びを見出していければ幸いです。

これまでの人生をどの様に歩まれてこられたのか、何を生きがいにされていたのか、愛着を持っておられた物事は何か等々利用者様お一人お一人の想いにご家族様のご要望をお伺いし介護保険の理念である「自立・自律支援」を基に今後の施設サービス計画書に反映できる様に努めていきたいと思えます。本年も宜しくお願いいたします。

森 智美

玄関の花瓶に生けたばかりのガーベラの花。利用者様がすぐ気づいて「きれかね」と言って通って行きました。その言葉を聞いてほっこり、幸せな気持ちになったのですが、ふと、ある利用者様が満開の桜を見ながら悲しそうにされていたことを思い出しました。花はその色、形、香りなどで人々の心を引きつけ、私たちは自然と「きれいな、かわいい、いい匂い」などの言葉が出てきます。

しかし、悲しい出来事があったり、悩んだり落ち込んだりしている時、体調が悪い時など、すべての景色が灰色に見えてしまうことがあります。食欲に関してと同じように気持ちや体調に左右される部分も大きく、何を食べてもおいしくない、食べられないといったことが利用者様にも見られます。そんな時、利用者様にどんな言葉かけをし、どのように寄り添ってあげればいいのか、その時々悩み、考えさせられ、毎回同じ答えはなく、私にとって永遠のテーマとなっています。

4月からは新施設でユニットケアが始まります。これまで以上に利用者様に寄り添いながら、温かい気持ちのこもった食事を提供していけたらと思っています。本年もよろしくお願い致します。

村田 紀美子

新年あけましておめでとうございます
昨年は私も機能訓練指導員という仕事を一人手に任せられ不安のまま皆様に支えられながら何とかこの一年やって来られたように思います。

利用者の方々とコミュニケーションを図りながら、残存機能を維持出来るように計画を立て実施してきましたが、体調を崩すとたちまち運動機能の低下が見られ、その時々、その状況にあったプランの立て直しをしながら取り組んで参りました。皆様に協力を得ながら昨年は乗り越えたように思います。

来年度は新たなユニットという形でスタートを切ることとなりました。今までのスタイルとは変わりますが、状況を見ながら個々に対応できる様、取り組んでいこうと思います。

今年も一年よろしくお願い致します。



看護主任

長崎 あけみ

新年明けましておめでとうございます
早いもので入職して10年が経ちました。当時の「ほほえみ」を懐かしく見ていると、利用者様や職員の顔ぶれも大きく変わり時代の流れを感じています。また、写真や記事を見ても昔は時間がゆっくり穏やかに流れていたように思います。

数年前に新型コロナウイルスが流行してからは、面会やワクチン接種等に影響が出ていましたが、「5類感染症」に移行して徐々に緩和され、対面での面会や外出、外泊もできるようになりました。ワクチン接種も約半数の方が希望されない状況です。少しずつ穏やかな生活が戻ってきているようで、このまま落ち着いてほしいものです。

今年4月からいよいよユニットケアが始まります。それに向けて昨年11月よりシミュレーションを行い、少しでも利用者様に心地よく過ごして頂けるように、また、防げる事故やミスを起こさないように職員全員で取り組んでおります。日々の生活の中でのちょっとした変化を見逃さず、多職種連携して健康管理に努めていきたいと思ひます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

介護主任

加椎 喜代美

新年あけましておめでとうございます
毎年思うのですが、昨年を振り返ると本当にあつという間に1年が過ぎ去っていきました。

ユニットケアが始まるという不安と目に見えて出来上がっていく新施設。気持ちと、思いが追いついていないのが現状です。
職員の中にはユニット経験者がいます。とても心強くありがたいです。

これからも学び、考え方から変えていかないと、と思う日々です。

今年は、長男の高校、次男の中学のダブル入学です。子供の成長と共に、私も健康面に気を付け元気で利用者様に寄り添い笑顔を欠かすことなく介護に努めていきます。

お互い良い年でありますように。
今年もよろしくお願ひ致します。



新年挨拶ブログの紹介



田平ホーム ホームページにて職員全員の新年挨拶ブログを掲載しています！

今年のテーマは『新年の抱負』『ユニットケアに向けて楽しみなこと』

ホームページの新年あいさつをクリックしていただくと、ブログをみることが出来ますので是非ご覧ください。

<https://blog.goo.ne.jp/tabira-sinnen>





↑お正月・1月
(おせち・雑煮)

食事で振り返る 田平ホームの1年



行事食

田平ホームでは、行事ごとに昼食に行事食が振る舞われます。食を通じて季節を感じたり、楽しみを見つけていただくことで、施設内においても日々の変化を感じていただければと思います。

→長寿祝い・1月
(赤飯・刺身・煮しめ・まんじゅう)



→(ソフト食)



↓敬老祝賀会・9月

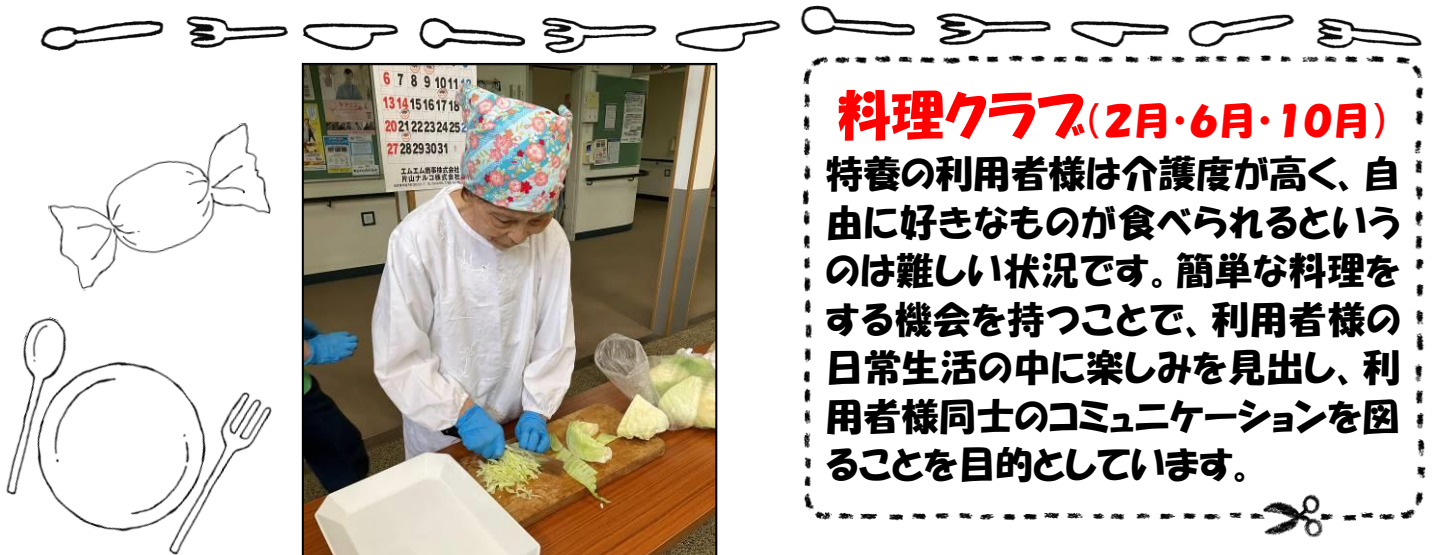
(赤飯・カレーのパプリカソース・牛肉の野菜巻き・ポテトサラダ・紅白なます・お煮しめ・すまし汁・フルーツ・祝まんじゅう)



↑春まつり・4月

主食は「ふくさ寿司」と「手毬おにぎり」
副食は、「エビフライ・タラの芽と筍の天ぷら・桜海老のかき揚げ・金目鯛の木の芽焼き・つくね照り焼き・フキと菜の花の煮物・飾りかまぼこ・イチゴのモンブラン」





料理クラブ(2月・6月・10月)

特養の利用者様は介護度が高く、自由に好きなものが食べられるというのは難しい状況です。簡単な料理をする機会を持つことで、利用者様の日常生活の中に楽しみを見出し、利用者様同士のコミュニケーションを図ることを目的としています。

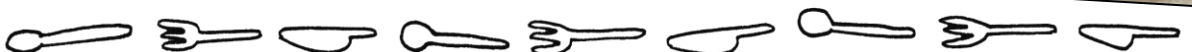


ふれあいランチ

(2月・3月・5月・6月・8月・10月・11月・12月)

定期的に行っています。

事前に利用者様に食べたいものを伺い、厨房に依頼をして作ってもらっています。参加された利用者様は料理の出来栄に驚き笑顔で食されていました。



昔のあそび

第12 弾

たこあげ



紙に自分の好きな絵を描き終え、乾いたら親に教えてもらいながら竹ひごや凧糸で凧を作り広い場所で凧揚げをしていました。『お正月には凧あげて〜♪』という歌もありましたが、今では凧揚げをしている風景をあまり見かけなくなりましたね。

平戸には伝統の鬼洋蝶（オニヨウチョウ）という凧があり、一昔前にはたたみ何枚分もの大きな凧を上げていたそうです。



～利用者さんに尋ねました～

大島村の広い畑で葉タバコなどを作っていた田島隆さんに子供の頃のお正月には凧揚げをして遊びましたかと尋ねたところ「さあ〜どうがんばって遊びよったかな〜凧揚げもしよったっちゃろ？」と言いながら笑っていました。時間が経つにつれ思い出したのか「広〜か畑かどっかに行って上げよった。風のあれば高く飛ばせるとばってん、風のなからんばでけんな〜」と笑顔で話してくれました。



▲田島隆さん（93）

私の喜怒哀楽

第58回目は、利用者様の 山口正男さん 編です。

利用者や職員の最近感じた『喜び・怒り・悲しみ・楽しみ』を紹介します。

自分の上の人が出世した事。自分も仲間に入れてくれてくれた。そして『おいで』と呼ばれ、仕事に不自由しなかった事。定年まで勤めあげ自分に職を任せられた事。

集団就職でバイクのタイヤを作りに行った時、他の人が働かなかった事。だから自分が若かったから人より2倍3倍働いた。

人一倍働いて忙しくなった分、周りから疎まれるようになって悲しかったし孤独を感じたが、気の合う仲間がいたから乗り越えられた。

気の合う仲間とご飯や飲みに行って楽しく過ごせた。酒は何でも好きだし底なしだけど1番はビールがよか。今も機会があれば酒を飲みたい(笑)

職員の想い

No.88



介護職

野口 啓太

『これからも頑張ります』

高校卒業後、地元を離れ特別養護老人ホームで働かせて頂きました。始めは利用様を安全に介護が行えるか不安で利用者様や職員の方に迷惑をかけてしまいましたが、先輩職員の指導のもと次第に自信がつき、感謝の言葉をもった際は嬉しい気持ちになりました。やりがいも感じるようになりました。

昨年4月より田平ホームで働かせて頂いています。介護歴も11年目。いろいろ学びながら技術や知識の向上に努め利用者様に安心して生活して頂けるよう頑張りたいと思います。

行事予定

1月

お正月（おせち料理）
長寿祝い

2月

節分（豆まき）

3月

桃の節句
春のドライブ
つわむき

毎月行事

食事会

ふれあい
ランチ

クラブ活動

プレゼント作り

利用者様の
作品を紹介
しています

企業見学バスツアーに来てくれた小・中・高校在校生にタオルバアを作りプレゼントしました。



中瀬美佐尾さん（94）

「できん」と言いながら指先に想いを込めて、ゆっくり一生懸命にクマの首にリボンを結ぶ中瀬さん。



藤村トキコさん（82）

頑張って作って出来上がったクマさんと一緒に写真を撮りました。

「しあえんばい」と言いつつ、一生懸命作ってくれました。出来上がった後の笑顔が素敵でした。



早田ツル子さん（84）

私のあの頃

長崎県平戸市

鳥山シモ子さん（92）



▲現在の鳥山さん

92歳になられた鳥山さんの若い頃は、自宅の前で野菜を作り、それを一輪車に乗せて売りに行っていたそうです。会話好きで笑顔がとてもチャーミングなので野菜もすぐ完売したとのこと。「ありがとう、ありがとう」と感謝の言葉を口癖にし、息子さんとの面会はいつも満面の笑みで楽しみにしています。『あの頃』は娘さんの結婚式の時。優しそうで品格があり、綺麗な着物がお似合いですね。



▲60代 娘さんの結婚式

読む！
ヨム！

定期だより

各職種よりお知らせ、
お願い、その他

ユニットケアへ移行準備

ユニットケアへの移行準備として、シミュレーションを行いました。課題となる感想もありましたが、「普段、利用者様の声に耳を傾けられないこともあるが、ゆとりをもって話を聴き、ゆつくりとした寄り添う介護ができた。」「大きな声を出す機会が減り、「お待ちください」の言葉を使わずに済んだ」等の感想がありました。

多床室の現在は全ての利用者様を把握して介護にあたらなければなりません。ユニットになり少人数になれば把握する人数が減り介護者の心にも余裕が生まれるのかもしれませんが、利用者様が居心地よく、自分らしく暮らせるよう支援していきます。

介護日和

ひとりひとりが
楽しく暮らせる
ように。

by 介護職 加椎 喜代美

医務室通信

免疫力を高めて
健康な日々を過
ごせるように。

by 看護師 黒木 美子

免疫力とは、病気の原因となる病原体を排除し健康を維持する力のことです。免疫力を高めるには、バランスのとれた食事、一日一杯の具沢山の味噌汁、乳酸菌食品を摂取する、湯船にしっかりとつかかる入浴をする、汗を軽くかく程度の適度な運動をする、質が高い深い睡眠をとる（理想は7時間睡眠）友人や仲間と楽しく話す、テレビやお笑い番組を見て笑う、歌う、ありがとうを口癖にする、などがあります。



日頃から心がけて、健康な毎日を過ごしたいものです。

免疫力を高めるには

備蓄食の提供

12月10日昼食時に災害時食事提供訓練を実施しました。電気、ガス、水道等ライフラインが停止し、厨房スタッフが不在という設定で、非常事態の中でも利用者の皆さんに食事が提供できるように訓練を行いました。

食事は備蓄食を使用した「白粥、かつおフレーク、ふりかけ、野菜ジュース」です。備蓄庫から食材を運び、白粥やかつおフレークは常温で、ジュースは缶のままで、必要な利用者様にはとろみをつけて食料をみながら盛り付け、配膳を行いました。「備えあれば憂いなし」と言いますが、実際の災害時には想定外のことも多いと予想され、毎年繰り返し訓練を行い、いざという時にも慌てず冷静に行動できるようにしなければならぬと思いました。

厨房MEMO

非常事態に備えて
毎年訓練を行
います。

by 管理栄養士 森 智美

機能訓練の栞

利用者様の気
持ちに寄り添
ったケアを。

by 機能訓練指導員 村田 紀美子



今年は長い間暑い日が続きましたが、12月に入りようやく涼しくなってきたかと思いきや、秋が短くたちまち冬になってしまいました。この寒暖差で体調を崩される方がいらっしやる為日々体を動かし、手足を動かして運動に取り組んでおります。

みなさん毎日朝の体操に積極的に参加して頂いて元気に過ごされております。また、他の方々ともふれあいの場もなっております。

今後皆様とコミュニケーションを図りながら楽しく生活を送る事が出来るようお手伝いが出来ればと思っております。頑張っております。

筋力UPを目指して

掲載情報

Instagram

ハローワーク江迎より取材を受け、長崎労働局のInstagramに田平ホームが紹介されました。
https://www.instagram.com/p/DDJYQQ3yx6b/?hl=ja&img_index=1



お願い 面会について

ご家族の皆様には面会について、ご協力を頂き、ありがとうございます。現在は
・ロビーにて
・少人数
・10分程度のルールを作り、面会者の方に健康チェックと検温をお願いしています。電話での要予約です
☎0950-57-1966

ユニット型個室について

令和7年4月1日にユニット型特養施設開設に向けて工事が行われています。

現在ショートステイ利用時には主に4人部屋を利用して頂いていますが、ユニット型になると個室を提供できる様になり、その分料金も増額となる場合もあります。

寂しいので多床室が良いという方もいらっしゃるかもしれませんが、今までの大人数での生活から少人数での生活に変わる事でより密にお話の傾聴や、ゆつくりとした時間を共に過ごす事ができるのではないかと期待しています。

在宅での生活を基に生活の継続と他者との交流を図りたいと思います。

ショートステイ

安心して過
ごして頂けるよう努
めていきます。

by 介護支援専門員 岩佐 初美

旬

手作りの門松は田平ホームの伝統です
守りたい 伝えたい 大切にしたい

企業見学バスツアー

今年度だけでおよそ100名、平戸市企業見学バスツアーを受け入れました。小学生には体験重視。中学生には座学を交え、高校生には就職を意識した内容で対応しています。1月2月も受入れ予定です。ありのままの田平ホームを見てもらい、子供達が高齢者に、介護や地域福祉に関心が持てるようお手伝いして参ります。

行事

『健康祭』

は利用者、職員共に楽しい秋の大運動会です。パン食い競争盛り上がりしました！文化祭の見学やコスモス見物にドライブに何度もお出かけしました。施設内では料理クラブや習字クラブ、ふれあいランチ、芋ほりや干し柿作り、ゆず湯等も行いました。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染対策を念頭に置きながら、工夫を凝らしています。



クリスマス会

恒例のクリスマス会は今年も笑顔溢れる会でした。プレゼントを手にした皆さんはとても嬉しそうなお様子。クリスマスソングを歌い、ケーキと紅茶を召し上がりました。聖書を朗読し、キャンドルに火を灯すと、厳かな気持ちになりました。



避難訓練

居室からの出火を想定して避難誘導訓練を行いました。平戸消防署・消防設備業者立ち合いで行い、訓練の総評を受けました。初期消火の大切さや、避難の順番など改めて教えて頂きました。



平戸市より賞賜金

新入職の職員と、年内に介護支援専門員資格を取得した合わせて3名の職員に平戸市よりの賞賜金授与がありました。就業の節目に、平戸市から介護職員への応援を感じ、頑張る気持ちを新たにしました。

グリーンカーテン受賞

令和6年度、平戸市主催の緑のカーテンコンクール福祉施設部門で優秀賞を獲得。なんと9年連続入賞しています。10月にはSDGs登録事業所にもなりました。省エネを大切にしていきたいです。



ユニットケア情報

ご家族の皆様へユニットケアについてお知らせする『ほえみ号外』を12月〜3月の4回にわたって発行します。「ユニットケアとは何か」「田平ホームではどのように準備しているか」「料金の話」等掲載しています。ユニットに関する相談窓口も設置しました。ご活用ください。

また、1月24日(金)・26日(日)の13時30分よりご家族向けの説明会を行います。説明会終了後、個別の相談も承る予定です。特別養護老人ホームのご利用者対象ですが、ご希望であればショートステイご利用のご家族もご参加いただけます。

研修

File 08

デジタル機器やアプリなど使ったり読んだり聞いたり盛盛りだくさんの研修です



介護職 益本 英明

介護の分野でも生産性向上は大きな課題のひとつです。令和6年度厚生労働省主催のこの研修は全国をオンラインでつないで1500人以上が受ける研修です。12月から2月迄複数回にわたって、受講と課題を繰り返します。学びを活かして余裕を生み出し、利用者のみなさんとのふれあいの時間を創出します。



今月の素敵写真

広場の掲示板に利用者の皆さんの素敵な笑顔の写真を
「今月の素敵写真」として掲示しています。その中よりご紹介します。



編集後記

施設建替えに際し、ほほえみも号外を発行し新施設についてのご紹介をさせて頂いています。移転による環境の変化で不安の無いよう引き続き利用者様主体の介護を行い、皆様にとってより快適で安心して暮らせる生活を提供できるよう尽力してまいります。また、ほほえみでもお伝えしていきますので、今後とも変わらぬご支援ご協力のほど、よろしくお願いたします。

社会福祉法人 **慈愛会**

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
介護予防短期入所生活介護事業所

田平ホーム

〒859-4825 長崎県平戸市田平町山内免232番地

☎：0950-57-1966 FAX:0950-57-2185

ホームページ：<http://www.tabira-home.or.jp>

表紙の
写真

新年の花活け



その年の豊作を祈願し、新しい門出を祝って「年神」へと供える鏡餅、華やかな正月のお花と共に飾り新年を迎えています。

昨今、家庭用のものは簡易的なお飾り餅が主流となってきましたが、日本の伝統文化に込められた思いは時代が変わっても引き継いでいきたいものです。